

八歳であつた。二人は釘刺しあそびをしたまま、一向にうろたえる様子も無かつた。孔融は、使者にいつた。「どうか罪はわが身だけにお止め下さい。二人の子供はお助け願えるでしょうか。」子供は徐に進み出ていつた、「父上、ひっくり返つた巢の下に、割れない卵があるでしょうか。」まもなく、また使者が子供たちを捕らえにやつてきた。

〔一〕

『魏氏春秋』にいう、「孔融は孫権の使者に対して誹謗の言を吐いたかどで、棄市の刑に処せられた。二人の子供は、その時八歳と九歳であつたが、孔融が捕らえられたにもかかわらず、碁遊びをしていて起とうともしなかつた。傍らのものが『あなたの父君が捕らえられたのですよ。』といつた。二人は『巢が毀されて、卵が割れないことがありますか。』といつた。つづいてほどなく二人とも殺されてしまった。』

『世語』にいう、「魏の太祖（曹操）は、穀物の不作を理由に酒を禁じた。これに対して孔融は『酒は儀礼に必要であり、禁じるのは宜しくありません』と申し立てた。そこで、人心を惑わしたとして、太祖は孔融を捕らえて刑に処した。二人の子供は、まだ七、八歳であつたが、捕らえられた。孔融が『どうして逃げなかつたのか。』というと、二人は答えて言つた。『父上がこうして捕らえられた以上、一体どうして逃げられましょう。』（下略）（本文、口語訳ともに、新釈漢文大系『世説新語』による）（傍線筆者）

（野田 了介）